

研究発表 1

## 短期大学図書館の運営実態に関する研究

運営委員	齊	藤	誠	一	副委員長
	村	山		力	委員
	宮	田	洋	輔	委員
	高	階	昌	代	委員

# 短期大学図書館の運営について

## 第1研究グループ報告

1

## 短期大学図書館の運営実態

1. 雇用形態別図書館職員数
2. 資料費の総額と内訳
3. 外部委託(アウトソーシング)
4. 図書館運営の課題
5. 図書館職員の資質向上(研修)

2

# 1. 図書館職員 (1)

## (1) 図書館職員の雇用状態: 短大単独館 (N=138)

表2. 短大単独館 (N=138) における図書館職員数 (平均)

	職務	①総数						②うち司書・司書補の人数			
		H22		H23		H24		H22		H23	
1) 専任	A 専従職員	1.44	1.44	100%	1.33	92%	1.12	1.13	101%	1.08	96%
	B 兼務職員	0.50	0.51	103%	0.52	105%	0.18	0.22	119%	0.23	123%
2) 非専任	C 非常勤職員	0.35	0.36	101%	0.39	111%	0.26	0.27	103%	0.30	115%
	D 臨時職員	0.79	0.75	95%	0.74	94%	0.23	0.27	116%	0.27	114%
3) 派遣職員等		0.40	0.39	96%	0.46	113%	0.26	0.25	97%	0.30	117%
総職員数		3.08	2.64	86%	3.01	98%	1.83	1.89	103%	1.91	104%

\* H23とH24の項右における値は、H22の値を100とした場合の百分率

- ・平均職員数は3人で、うち有資格者の数が2人弱
- ・専従職員数は減少そのうちの有資格者の数は横ばい
- ・非正規雇用者数およびそのうちの有資格者の数は増加
- ・非常勤職員と派遣職員が増加し、臨時職員が減少

3

# 1. 図書館職員 (2)

## (2) 館長職

館長の身分	館数
館長の身分	館数
教員の兼務	287
図書館職員	1
その他	18
	306

\*教員の兼任が94%

\*その他の回答には

- ・本館の館長が統括する
- ・学長・副学長・事務部長の兼任
- ・館長職を置かない など

\*館長は名誉職?

→ 図書館職員のモチベーションへ影響?

4

## 2. 図書館資料費

表4. 短大単独館 (N=138) における図書館資料費 (平均) [単位: 千円]

		H22	H23	H24
資料費総額		6,536	6,447 99%	6,179 95%
内訳	a. 図書費	3,823	3,706 97%	3,392 89%
	b. 消耗品費 (雑誌・新聞等)	1,990	1,924 97%	1,882 95%
	c. 電子資料等	708	818 116%	817 115%
	d. その他	309	298 96%	329 106%

\* H23とH24の項右における値は、H22の値を100とした場合の百分率

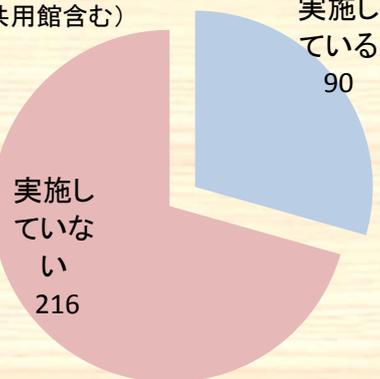
・短大単独館の資料費は、大学共用館を含む全体の1/4程度

\* 図書費と消耗品費が減少している一方、電子資料等とその他(電子資料費も含む)の費目が増加している。しかし、後者ののびは少なく、**資料費総額としては減少傾向である。**

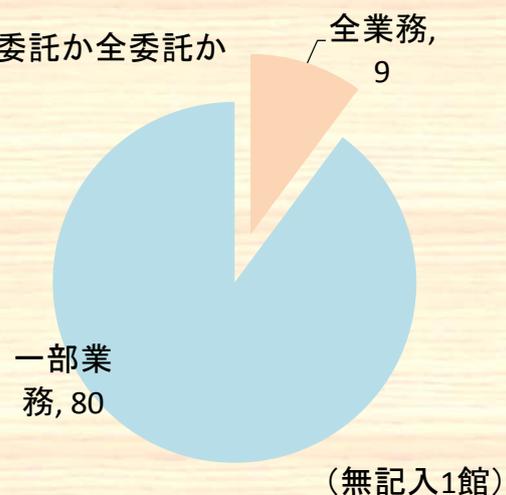
5

## 3. アウトソーシング (1)

実施状況  
(大学共用館含む)



部分委託か全委託か

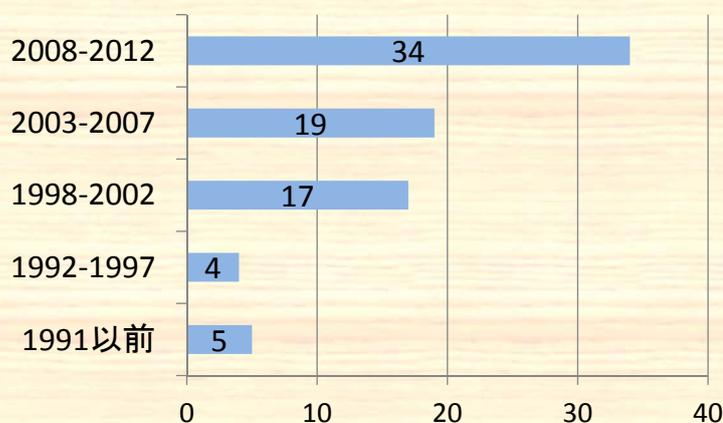


\* 短大単独館: 138館中17館(12%)が実施しており、その内3館が全業務を委託している

6

### 3. アウトソーシング (2)

#### 開始年度 (N=79)



- ・1998年以降に開始した図書館の割合は89%
- ・短大単独館では、16館中14館(86%)が同期間に開始した。

### 3. アウトソーシング (3)

#### 部分委託(業務内容)

- ・カウンター業務[貸出・閲覧・参考](50)
- ・資料受入業務[装備など](40)
- ・システム管理[目録データ入力も含む](38)
- ・書架整理・書庫管理(19)
- ・製本・修理(19)
- ・他機関との交渉・ILL(7)
- ・広報・利用者教育・HP(6)
- ・督促(1)
- ・警備・清掃・施設管理[施錠など](40)

### 3. アウトソーシング(4) メリット

- ・ **人員・労働量の削減**[人員管理・研修の軽減](44)
- ・ **専門的スキルを利用できる**[製本・清掃ほか](23)
- ・ **労働資源を生産的な業務に集中できる**(20)
- ・ **サービスの拡大**[開館時間延長等](14)
- ・ **運営の安定**[職員の移動が少ない] (7)
- ・ **メリットはない**(3)

**\* メリット = コスト削減・専門スキルの活用**

9

### 3. アウトソーシング(5) デメリット

- ・ **契約業務内容のしぼり**[融通性が無いなど](22)
- ・ **専任職員の知識とスキルの低下**(16)
- ・ **業務の質の低下・納期の遅れ**(14)
- ・ **経費または労働量の増加**(12)
- ・ **将来の見通し不安・図書館職員の安定性の低下**(10)
- ・ **コミュニケーション・情報共有**(7)
- ・ **モチベーションの低下**(4)
- ・ **コンプライアンスに対する不安**(3)
- ・ **特になし**(14)

**\* コストや業務量・職員の安定性については、メリット・デメリット両方にあげられ、相反する見解がみられる。**

10

### 3. アウトソーシング (6) 実施館の規模

**導入されない理由：  
規模の経済性？**

- ① 業務に規模の経済性が働かない、かつ
- ② 少人数で全業務をこなすため業務の柔軟性が失われる

表5. アウトソーシング実施館と非実施館の規模の違い\*

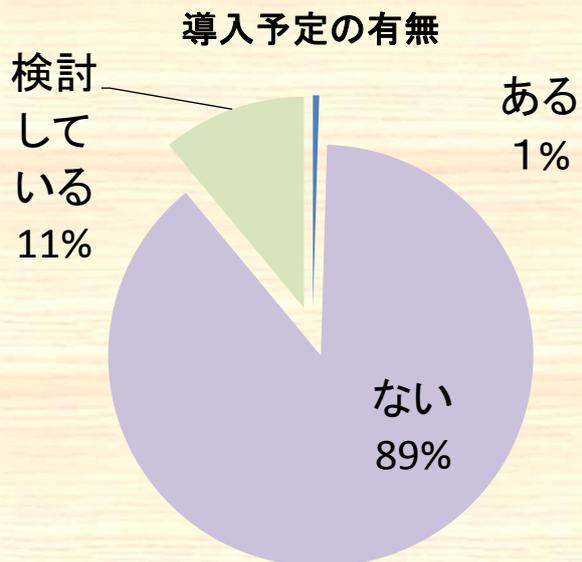
全館		
	実施館	非実施館
H24資料費+	54,235	9,306
H24職員数	10.04	3.67
(うち司書数)	6.32	2.35
短大単独館		
	実施館	非実施館
H24資料費+	19,229	4,191
H24職員数	6.12	2.57
(うち司書数)	3.44	1.69

\*数値は平均値  
+単位は千円

### 3. アウトソーシング(7)

・直近の予定では、アウトソーシングを計画している図書館は少ない。

\*図書館においてアウトソーシングはメリットが少ないと判断されている？



## 4. 短期大学図書館の課題 1 (組織・人事)



・この二つが両立しない場合、「専門性の無い専任職員」か「専門性のある非専任職員」のどちらを優先すべきか？

13

## 4. 短期大学図書館の課題 2 (経費)



- ・第一に図書館施設設備が、第二に図書購入関連が多くの回答を集めた。
- ・電子ジャーナルや有料データベース関連の経費については、先に挙げた二つより重要性の低い課題となっている。

14

## 4. 短期大学図書館の課題 3 (設備)



・**スペースの確保**が大きな課題となっている。

15

## 4. 短期大学図書館の課題 4 (サービス)



・**教育図書館あるいは学校図書館の役割重視**

16

## 4. 短期大学図書館の課題 5 (運営面)



**\*学内における「図書館の位置」が、  
人事や予算面に表れている？**

17

## 4. 短期大学図書館の課題 6 (その他)

- ・予算削減への対応
  - ・ボランティアによる学習支援プログラムの機能強化
  - ・来館者数の増加
  - ・キャンパス統合による図書館資料の移動処理
  - ・大学キャンパスネットワークの再構築への対応
  - ・図書館システムの機能向上
  - ・特殊な資料(楽譜等)の配架方法改善
  - ・遡及データの整備
- ・図書館独自、または短期的に解決が必要な課題であると推測される。

18

## 5. 図書館職員の資質向上への取組み (1)

### (1) 過去3年以内(平成21～23年)に参加したことがある研修会



19

## 5. 図書館職員の資質向上への取組み (2)

### 参加しない理由

- ・職員の不足(19)
  - ・日程の問題・または遠隔地のため(8)
  - ・予算の問題・または組織が認めないなど(8)
  - ・意義を認めない、優先順位が低い(3)
  - ・参加の有無は委託先に任せているため
  - ・今年度より私立短期大学図書館協議会に加入したため
- 
- ・日程や距離など、間接的に職員数と経費の問題が影響する理由が多くみられた。
  - ・図書館員の研修に対する経営組織側の低評価もみられた。

20

## 5. 図書館職員の資質向上への取組み (3)

### 図書館情報担当者研修会の内容として、期待するもの

- ・他大学図書館の実践事例報告または見学会、情報交換会など(28)
  - ・経営関連・学内・組織内コミュニケーション[上司の説得法など](22)
  - ・利用指導法および情報リテラシー教育の指導法(19)
  - ・業務全般に関して、とにかく実用的なもの(9)
  - ・電子書籍・オンラインデータベースについての講習(8)
  - ・レファレンス技能の向上(7)
  - ・教員・学生との協働の方法(5)
  - ・HP作成またはインターネット活用講習(5)
  - ・ラーニング・コモンズについて(4)
  - ・機関リポジトリの運営講習[NII-ILLの利用も含む](3)
  - ・資料選択・廃棄に関して(2)
  - ・著作権に関して(2)
  - ・地域との連携に関して(1)
  - ・目録システムの構築・管理(1)
  - ・夏休み開催、土日開催、九州地区開催、毎年開催、参加費の少ない開催(6)
- ・すべての図書館を満足させる企画を立てるのは難しい
- ・また、いくつかの記述で、小規模図書館あるいは短大図書館という属性に焦点を絞った企画への期待がみられた。